



緑風会

おお ば ま さ あ き
大場正昭 議員



令和8年度予算編成

問 令和8年度予算編成における新規・拡充事業の財源をどのように捻出するのか。

答 市の裁量が大きい事業は、評価表を用いた評価を徹底し、リセットの視点で見直しを加え、一般財源ベースで6%の減、1億8000万円の削減をすること、新規・拡充事業の要求は、既存事業の廃止や縮小、国や県の補助金など新たな財源の確保や受益者負担の見直しなどにより自ら財源を捻出することとしている。

人口減少対策の推進を

問 就学前の子どもを持つ世代に照準を絞った施策を充実させてほしいかどうか。

答 本年度から新たに「こども若者家庭センター」を設置し、結婚、出産、子育て、就労、社会生活で困難を有する若者まで、切れ目のない一体的な支援を行うため、母子保健と児童福祉の機能連携を強化し、相談窓口の集約や、総合型相談支援体制を整えた。今後も引き続き、こども若者家庭センターを中心に、「こどもしあわせプラン」における子ども施策を総合的かつ一体的に推進し、安心して子どもを産み育てられる支援の充実に努めていきたい。

子ども・若者の支援に関する重要課題

問 放課後児童クラブを利用している児童のうち、不登校傾向のある児童への支援を望むかどうか。

答 放課後児童クラブを利用している児童のうち、教育支援センターひまわりや学校内の教育支援センターに通っている児童は、本年11月現在7人である。各クラブでは子ども一人一人の思いや気持ちを大切にしながら支援に努めている。教育委員会としては、クラブを利用する全ての児童が安心・安全に過ごせる環境を整えるため、小学校との連携はもとより、幼児教育アドバイザーの訪問指導や、従事する支援員などの研修の充実を図り、居場所としての「量」の確保だけでなく、「質」の向上に努めていきたい。

その他の質問事項

- ・財政健全化に向けた今後の取組
- ・日本一健康文化都市の実現に向けて

ほか



放課後児童クラブの活動の様子

代表質問とは

翌年度の市政の運営に向けて会派の政策提言・提案という趣旨で会派を代表する議員が行うものです。
本市議会では11月市議会定例会で、一般質問に先立ち行います。質問時間は、会派の人数によって異なります。

1会派あたり20分 + (会派の人数×5分) ※上限60分

○共創ふくろい
20分+(9人×5分)=60分(上限)

○市民クラブ
20分+(2人×5分)=30分

○緑風会
20分+(8人×5分)=60分

一般質問とは

個々の議員が市政全般にわたり市長・教育長に対して行う質問で、各定例会で行います。質問時間は一人30分以内となっています。

質問方式

代表質問・一般質問は、次の2つの質問方式から選択して行います。

①一括質問一括答弁

議員が全ての質問をまとめて行い、市長などもまとめて答弁を行います。

なお、再質問・再々質問まで行うことができます。

②一問一答

議員の質問と市長などの答弁を一問ずつ交互に行います。

質問内容

代表質問・一般質問の通告内容はホームページからご覧いただけます。

